

graduates active in various fields 各界で活躍する卒業生



河野孝太郎 1986年度卒業
東京大学大学院理学系研究科博士課程修了

現在 東京大学大学院理学系研究科教授

電波天文学・銀河天文学が専門。国立天文台野辺山宇宙電波観測所助手などを経てASTEプロジェクト責任者、アタカマリミ波サブミリ波干渉計(ALMA)科学諮問委員会委員長、ミリ波天文学研究所(IRAM)プログラム委員会委員など国内外の観測プロジェクトに貢献しつつ、銀河や巨大ブラックホールの形成・進化過程の研究を進めている。

40キロハイクも胸突き八丁、疲れ果ててダラダラ歩いていた私に向かい、後ろから走って追いついてきた友の放った言葉、今でも鮮明に覚えています。「辛い時に頑張らないと、限界は超えられないぞ。」自分はこんなもの、このくらいできればいいや、と考えた瞬間に、成長は止まります。大事なことを直言しあう友と出会い、自分自身に挑戦するという辛く、そして幸せな経験を思う存分積み重ねることのできる、そんな場所が、私の母校、熊谷高校です。

現在 東京理科大学理学部応用化学科 教授

慶應義塾大学工学部助手、分子科学研究所助教、東京理科大学理学部講師・准教授を経て、2017年4月より現職。

私は今、大学で研究者・教育者として働いています。新しい研究成果を生み出す上では、オリジナルな発想と、それを成し遂げる粘り強さが非常に重要です。私は熊高時代に、この両方を身につけることができたように感じています。熊高の自由な校風のもとで、自分で考える習慣が身につき、また、所属していた陸上部で、努力の重要性を覚えました。熊高には、研究者育成に必要な環境が整っていますので、今後も熊高からは、多くの学者・研究者を輩出して欲しいと思っています。



根岸 雄一 1990年度卒業
慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了

現在 外務省在ギニア日本国大使館参事官

外務省入省後フランス語を研修し、ケニア、フランス(ユネスコ代表部)にて勤務。本省勤務(国際協力局など)を経て、2013年10月より現職。



吉川 亨 1988年度卒業
慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了

熊高時代に得たものは数え切れません。自主独立の気風や、権利の行使には相応の義務が伴うという、国際社会では常識ですが、日本の教育では身につけにくい当たり前のことを吸収できたのは大きな成果でした。これが、ギニアでエボラ出血熱が蔓延する緊急事態の渦中であって、自らの判断に自信をもち冷静に職務を遂行する上での精神的土台を形成してくれました。もちろん、高校時代の友人は生涯の友。彼らとの変わらぬ交流も熊高で得たかけがえのない財産です。

現在 日本放送協会 (NHK) アナウンサー

沖縄放送局、千葉放送局、アナウンス室などを経て、現在前橋放送局アナウンサー
これまで「BS ジュニアのど自慢」「NHK ジュニアスペシャル」など主に情報・バラエ
ティー番組の司会を担当し、現在は「ほっとぐんま640」などに出演している。

熊谷高校は皆さんが想像する以上に自由な校風です。馬鹿げたことも含めて
自分が興味を持ったことをとことん突き詰めることができ、成功も失敗も受け
入れてもらったのは熊谷高校ならではのようです。その中で育んだ‘自分らし
さ’や‘好奇心’は、アナウンサーとしては武器になり、一個人としてはかけがえ
のない宝物になっています。皆さんもきっと熊谷高校の三年間で‘好きな自分’
を探せるはずですよ。



関口 健 1990年度卒業
早稲田大学政治経済学部経済学科卒



宇田 朋史 2012年度卒業
拓殖大学商学部卒

現在 株式会社 安藤ハザマ勤務

大学4年間箱根駅伝を走る。4年次にはキャプテンを務め、第4区・区間6位の
成績をおさめた。

熊高の「自由と自治」という校訓は、私に大きな影響を与えました。自分自身
を律し、目標を達成するためには何をすべきなのか、何をしてはいけないのか
ということを常に考えて行動したことが、大学駅伝の世界での大きな成長につ
なりました。

大学や社会は「自由」なところです。口うるさく何かを言ってくれる人は、少
なくなります。その「自由」の裏側にある「自治」の大切さを学んだ熊高での3年
間はかけがえのない財産です。

卒業生からのメッセージ



中村 錬 (群馬大学医学部医学科・桶川市立桶川西中学校出身)

熊谷高校には目標に向かって切磋琢磨し合う仲間や温かい指導をして下さる先生方など、物事に真剣に取り
組む上で最高の環境が揃っています。皆さんもこの熊谷高校で自分のやりたいことを見つけ、全力で取り
組んでみませんか。



相上 生磨 (東京学芸大学教育学部生涯スポーツ学科・鴻巣市立鴻巣北中学校出身)

熊高では「自由と自治」の校風のもと、部活、勉強、行事と生徒一人一人が全力となり取り組んでいます。ま
た、男子校で過ごす3年間で素晴らしい仲間に出会い、必ず一生ものの友をつくることができます。是非、熊
高ですべてに全力投球をし、最高の高校生活を送ってください。



黒澤遼太郎 (東京大学文科Ⅲ類・熊谷市立荒川中学校出身)

熊高入学時から国立大学進学が目標でした。熊高生が勉強・部活・学校行事に真摯に向き合う姿を見て、自
分自身も大きく飛躍しました。皆さんも、熊高で才能あふれる友人達と出会い、学び、語り、豊かな高校生活
を楽しんでください。



藤間謙太郎 (北海道大学総合入試文系・熊谷市立妻沼西中学校出身)

熊谷高校は文武両道で、勉強のみならず、部活や行事にも本気で取り組む学校です。様々な経験がで
きる熊高の3年間は皆さんを間違いなく心身ともにたくましくしてくれます。男子校という新しい環境で
色々なことにチャレンジし、充実した高校生活を送ってみませんか。

生徒会長からのメッセージ



磯崎 史弥 (東松山市立東中学校出身)

熊高には、自分がやりたいことに全力で打ち込める環境があります。このような環境で過ごした経験は、皆
さんにとってかけがえのないものになり、人として大きく成長させてくれるはずです。ぜひ、熊高で有意義な
高校生活を送ってください。